

**2009 年度**

**環境活動レポート**

(平成 21 年 5 月～平成 22 年 4 月)

作成日：2010 年 5 月 17 日



**株式会社 西村工務店**

## 1. 環境方針

株式会社 西村工務店 環境方針

当社は経営理念『快適で安心していただける環境づくり』のため、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

1. 建設工事に伴う環境負荷の低減に努めます。
2. 建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
3. 関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

2008年8月18日

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

## 2. 事業所の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

(2) 所在地

[ 本社 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 17 番地  
[ 森脇倉庫 ] 兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 192 番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 加藤 一郎  
EA21 事務局 亀村 里美  
連絡先 電話 0796-96-1136 F A X 0796-96-0832

(4) 事業活動内容

建築工事業、土木工事業

(5) 事業規模

年間売上高 5 億 7 千万円 (2008/23 期)  
従業員数 18 人  
床面積 1937.96 m<sup>2</sup>

(6) 建設現場等の概要 (2008 年度)

建築工事 216 件  
土木工事 72 件

### 3. 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度 (2008年度実績) 2008.5～2009.4	2009年度		2010年度 計画	2011年度 計画
			通期計画(5月～4月)			
			通期実績(5月～4月)			
1-1	二酸化炭素排出量削減 (電力使用量の削減)	32,205kWh/年	31,200kWh		30,900kWh/年 ( '08年度比4%減)	30,500kWh/年 ( '08年度比5%減)
			29,391kWh			
1-2	二酸化炭素排出量削減 (ガソリン車両燃費の向上)	13.16 km/ℓ	13.40 km/ℓ		13.6km/ℓ ( '08年度比4%向上)	13.9km/ℓ ( '08年度比6%向上)
			13.35 km/ℓ			
1-3	二酸化炭素排出量削減 (軽油車両燃費の向上)	9.24 km/ℓ	9.40 km/ℓ		9.6 km/ℓ ( '08年度比4%向上)	9.8 km/ℓ ( '08年度比6%向上)
			9.26 km/ℓ			
2-1	廃棄物排出量削減 (紙資源使用量の削減)	70,000枚/年	67,900枚		67,200枚 ( '08年度比4%減)	66,500枚 ( '08年度比5%減)
			63,500枚			
2-2	廃棄物排出量削減 (ダンボールのリサイクル化)	0.79m <sup>3</sup> /年	7.00m <sup>3</sup>		8m <sup>3</sup> 以上 (前年1m <sup>3</sup> 増)	9m <sup>3</sup> 以上 (前年1m <sup>3</sup> 増)
			11.88m <sup>3</sup>			
2-3	廃棄物排出量削減 (ペットボトルのリサイクル化)	0m <sup>3</sup> /年	2m <sup>3</sup>		2.5m <sup>3</sup> (前年0.5m <sup>3</sup> 増)	3.0m <sup>3</sup> (前年0.5m <sup>3</sup> 増)
			1m <sup>3</sup>			
3	総排水量削減	217m <sup>3</sup> /年	210m <sup>3</sup>		208m <sup>3</sup> ( '08年度比4%減)	206m <sup>3</sup> ( '08年度比5%減)
			170m <sup>3</sup>			

### 4. 主要な環境活動計画の内容と達成状況

No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成状況 (21/5～22/4)	評価
1-1	電力使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷暖房の設定温度の励行</li> <li>不在不用箇所の消灯徹底</li> <li>パソコンの省電力モード活用</li> </ul>	目標：31,200kWh 実績：29,391kWh 達成状況：94.2%	達成
1-2	ガソリン車両燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>車間距離を適度にあげ、急発進・急減速をさける。</li> <li>無駄なアイドリングストップ</li> </ul>	目標：13.4 km/ℓ 実績：13.35 km/ℓ 達成状況：99.63%	未達成
1-3	軽油車両燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>車間距離を適度にあげ、急発進・急減速をさける。</li> <li>無駄なアイドリングストップ</li> </ul>	目標：9.4 km/ℓ 実績：9.26 km/ℓ 達成状況：98.51%	未達成
2-1	紙資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>両面コピーの使用</li> <li>コピー用紙の裏面再利用</li> <li>電子メディアの利用によるペーパーレス化</li> </ul>	目標：67,900枚 実績：63,500枚 達成状況：93.5%	達成

2-2	ダンボールのリサイクル化	・年間2回実施されるリサイクル活動へ搬出	目標： 7.0 m <sup>3</sup> 実績： 11.88 m <sup>3</sup> 達成状況：169.7%	達成
2-3	ペットボトルのリサイクル化	・年間2回に分けてリサイクル	目標： 2.0 m <sup>3</sup> 実績： 1.0 m <sup>3</sup> 達成状況：50.0%	未達成
3	総排水量削減	・全社員に節水意識を浸透	目標： 210 m <sup>3</sup> 実績： 170 m <sup>3</sup> 達成状況：80.0%	達成

## 5. 環境活動の取組結果の評価

エコアクション取得後約1年が経過した。

一般廃棄物の取り扱いでは、新たにペットボトルを分別するという取り組みをスタートさせた。目標には及ばなかったが、キャップを取り外し、外装のフィルムを外すという手間のかかることに対して、関係する社員や協力業者が取り組んでくれたことは大きな成果だったといえる。

ダンボールについては、年2回、地元の学校が主催する資源回収に搬出し、少なからずPTA活動等の資金源につながることで、地域貢献にも寄与できたと思う。

紙資源の使用、総排水量は、当初使っていた量よりもそれぞれ25%、34%と大幅に削減できており、目標を管理し、工夫改善してきた成果が現れた。

電力量の削減も当初より23%の削減をしてくれているが、社内の空調のコントロールによるところが大きく、快適性を犠牲にしながらやっているところが大きいので、今後快適性を損なわないようにしながら削減するためには、設備のあり方にも踏み込んだ形で改善をしていかななくてはいけないように感じる。

車両の使用に伴う、燃料の削減については、ガソリン、軽油、共に目標達成ができなかった。計数管理は、全社分で行っていたので、各車両ごとの達成目標を明確にしていくことが必要と思われる。

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。平成21年度より1年間集計し6月までに報告書を提出。	遵法
2	建設リサイクル法	発注者への計画等説明書（工事着手する日の7日前まで）と完了報告書。	遵法
3	建築基準法	確認申請書を提出して建築主事の確認を受け、確認済証の交付を受ける。	遵法
4	騒音規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
5	振動規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
6	河川法	1日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合は河川管理者に届出書提出	遵法

### (2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

以上